

諸家系譜

位  
力  
片  
桐  
笥  
行  
山

庫文官政太			
二二五	三二六	九	和書門
冊	架	函	號類

庫文閣内			
五二六	三二六	九	和書
架	冊	號	類

内閣文庫		
番號	和	32649
冊數	225 (124)	
函號	156	23

共二百廿五冊  
共八十九



市平月八日  
書合行書

加  
深

系  
籠

法和源  
或可復  
○ 坂田世系

書合

所  
桐  
新  
態

源氏  
河相

先祖從忠位下信嚴守信列傳家那  
河相村莊住世家河相之始其後河相

幕之致  
家之致  
智之致

石行之內  
凡之內  
自之內

先祖又之部  
河相之始其後河相  
河相之始其後河相

河相之始其後河相  
自之始其後河相

如

武田之如

素

河相之始其後河相

河相之始其後河相  
河相之始其後河相  
河相之始其後河相

之晴

河相之始其後河相

河相之始其後河相





女

實正三年三月廿七日其母年過七十而  
同年三月廿七日其母年過七十而  
實正三年三月廿七日其母年過七十而  
實正三年三月廿七日其母年過七十而  
實正三年三月廿七日其母年過七十而

母 大正四年

女

河內縣人 實正三年  
河內縣人 實正三年

女

母 實正三年

女

河內縣人 實正三年  
河內縣人 實正三年

某 女

河內縣人 實正三年  
河內縣人 實正三年

友 從

荒川 實正三年

養母 實正三年

河內縣人 實正三年

實正三年三月廿七日其母年過七十而  
實正三年三月廿七日其母年過七十而  
實正三年三月廿七日其母年過七十而  
實正三年三月廿七日其母年過七十而  
實正三年三月廿七日其母年過七十而

女  
母  
上青  
寛政十三年九月廿五日  
川信太郎

女  
母  
上青  
寛政十三年九月廿五日  
川信太郎

女  
母  
上青  
酒井信太郎

女  
母  
上青  
酒井信太郎

女  
母  
上青  
酒井信太郎

女  
母  
上青  
寛政十三年九月廿五日  
川信太郎

女  
母  
上青  
寛政十三年九月廿五日  
川信太郎

女  
母  
上青  
寛政十三年九月廿五日  
川信太郎

女 友升良女

實政上乙未年三月 行桐新張 知  
 實政上乙未年三月 行桐新張 知

某 氣之師

某 氣之師

石 道

高 二年 武家 餘

諸君請書

天明八年三月五日 金澤市 内 藩 署  
 實政上乙未年三月 行桐新張 知

實政上乙未年三月 行桐新張 知



極く稀な... 随筆...  
[Faint handwritten text, likely bleed-through from the reverse side]

長年...  
[Vertical handwritten text]

活版所  
[Vertical handwritten text]

系譜  
[Vertical handwritten text]

活版所  
百二十番〇坊の書  
[Vertical handwritten text]

カ、  
源  
[Vertical handwritten text]

以て...  
活版所  
行桐長房  
[Vertical handwritten text]

Handwritten text in vertical columns, possibly bleed-through from the reverse side of the page. The text is faint and difficult to decipher.

江和源  
行桐

先祖從之位下中御与油快公出行桐  
甲斐守満守公代々後胤迄口國  
右位行桐右兼行桐此後直直孫  
行桐右兼守自出嫡子

幕之故 兼内右衛門尉 二階重  
家之故 兼内右衛門尉 兼内右衛門  
番之故 二階重 尉 兼内右衛門  
右故 兼内右衛門尉 兼内右衛門

天朝賜 名字之刻明之致多 嗣之致亦多之  
刻明之致多 嗣之致亦多之

貞隆台三代

信隆

上條長房

如形氏

母

如形氏

養母

如形氏

公保如形氏

父

寛永二乙七年 生人能

教方之印代

延宝元亥七年 行間名之公昌泰地

獨子中條長房信隆台 名知名仁氏

行間名之公昌泰地

延宝二甲亥年 行間名之公昌泰地

如形氏 信隆台 如形氏 信隆台

如形氏 信隆台 如形氏 信隆台

如形氏 信隆台 如形氏 信隆台

如形氏 信隆台 如形氏 信隆台

如形氏 信隆台 如形氏 信隆台

所書

沙皇陛下御下 御書

口年九月十日 古き書信 御書 御書

口年七月十日 古き書信 御書 御書

口年三月十日 古き書信 御書 御書

口年二月十日 古き書信 御書 御書

口年一月十日 古き書信 御書 御書

後西院宸翰 御書 御書

口年一月十日 古き書信 御書 御書

明正院古書 御書 御書

同年三月

所書 口年正月十日 古き書信 御書 御書

口年十二月十日 古き書信 御書 御書

口年十一月十日 古き書信 御書 御書

口年十月十日 古き書信 御書 御書

所書 口年九月十日 古き書信 御書 御書

口年八月十日 古き書信 御書 御書

口年七月十日 古き書信 御書 御書

口年六月十日 古き書信 御書 御書

口年五月十日 古き書信 御書 御書

同平七年七月廿五日  
口平八月廿五日  
同平八月廿五日  
口平八月廿五日  
同平八月廿五日  
口平八月廿五日  
同平八月廿五日  
口平八月廿五日  
同平八月廿五日  
口平八月廿五日

口平八月廿五日  
同平八月廿五日  
口平八月廿五日  
同平八月廿五日  
口平八月廿五日  
同平八月廿五日  
口平八月廿五日  
同平八月廿五日  
口平八月廿五日  
同平八月廿五日

印年印月朔元九午二

奉州 出言陽氣正祥雲字

号隆秀流庵注前卷入

和光淨願秀如新路年九月名和

自明

長子年

夜月分紙長号 栗名丹齋

母

和名和

入久保町美和名和

自房

三原正

母

上尚

二百斤相學年希多福小二留之廣端字

七子類是物及之也思用之隆家書字

自尚

保田隆惠 流号 右堂下

未田名別書以留右右尚

某

七傑三正号

母

和名和

二日此乃彼多名之意乃紅雲保正書年

青香堂死葬而 以年

号 吉前 白



信近  
丁酉年 庚子年 壬午年

信近

丁酉年 庚子年 壬午年

夏  
夏  
夏  
夏

信近  
信近  
信近  
信近

元禄六年 庚子年 壬午年 丁酉年  
西浦入 乙未年 十月 十日 十日 十日  
中諸人 壬午年 十月 十日 十日

國平 壬午年 十月 十日 十日  
信近 壬午年 十月 十日 十日  
亦自見信

壬午年 十月 十日 十日  
信近 壬午年 十月 十日 十日  
亦自見信  
信近 壬午年 十月 十日 十日  
亦自見信  
信近 壬午年 十月 十日 十日  
亦自見信



信長之九四書院書

信長保元元年五月廿七日

老弟也 近來祥安否

以信長身處境變又而望

信長保元元年五月廿七日

信長保元元年五月廿七日

中子

母 弟

小宮山平公命昌勝書

信興

長信

信長

信長

母 上同

妻

兒

信長

信長保元元年五月廿七日

信長保元元年五月廿七日

信長保元元年五月廿七日

信長保元元年五月廿七日

信長保元元年五月廿七日

信長保元元年五月廿七日

信長保元元年五月廿七日

信長保元元年五月廿七日

信長保元元年五月廿七日



惟中言信即本高由年同第子以信先居  
一帶乃乃也而之延一經于而死之每後之信而先

信馮

長信

昭國如如

母 上青

素

昭國長信昭國如如

昭國又十節利如女

室信又上信年信行之信也信信年也  
島水九年子年信行之信也信信年也  
昭國信也信也入  
信年信行之信也信也信也信也  
信年信行之信也信也信也信也

細入

信年信行之信也信也信也信也

信年信行之信也信也信也信也

信年信行之信也信也信也信也

信年信行之信也信也信也信也

信年信行之信也信也信也信也

信年信行之信也信也信也信也

信年信行之信也信也信也信也

信年信行之信也信也信也信也

紀元七百七十一年四月八日  
 新羅王遣使來朝  
 使臣曰  
 臣等奉命而來  
 願與貴國通好  
 臣等所奉之書  
 請貴國王覽之  
 臣等所奉之禮  
 請貴國王受之  
 臣等所奉之幣  
 請貴國王納之  
 臣等所奉之幣  
 請貴國王納之

信使

母

正身

正身者  
 正身者  
 正身者

孝

女青

孝  
 孝  
 孝

孝

女青

孝

女青

孝

女青

右之御書

三ノ石  
御書  
御書  
御書

寛政十三年

行綱長三郎 馬

朱印

御書  
御書

先祖書

か  
後冬字三

御書  
御書

藤原姓

寛 藤原 凡色三ツ次

寛和元年

教春

年十帝

母 石門の女

素 尚井の女

神皇正統記卷之十

天和八年二月南河内守藤原良房の女  
其女河内守藤原良房の女  
其女河内守藤原良房の女  
其女河内守藤原良房の女  
其女河内守藤原良房の女  
其女河内守藤原良房の女  
其女河内守藤原良房の女  
其女河内守藤原良房の女  
其女河内守藤原良房の女  
其女河内守藤原良房の女

藤原長子の子

藤原長子の子

藤原長子の子

藤原長子の子

藤原長子の子

藤原長子の子

藤原長子の子

藤原長子の子

藤原長子の子

元勝

宣和元年七月... 宣和元年七月...  
 宣和元年七月... 宣和元年七月...  
 宣和元年七月... 宣和元年七月...  
 宣和元年七月... 宣和元年七月...

小 宣和元年七月...  
 中 宣和元年七月...

東 宣和元年七月...  
 東 宣和元年七月...  
 元春 宣和元年七月...

宣和元年七月... 宣和元年七月...  
 宣和元年七月... 宣和元年七月...  
 宣和元年七月... 宣和元年七月...  
 宣和元年七月... 宣和元年七月...

初勝 宣和元年七月...  
 宣和元年七月... 宣和元年七月...  
 宣和元年七月... 宣和元年七月...  
 宣和元年七月... 宣和元年七月...

元禄十一年七月五日  
元禄十一年七月五日  
元禄十一年七月五日  
元禄十一年七月五日  
元禄十一年七月五日  
元禄十一年七月五日  
元禄十一年七月五日  
元禄十一年七月五日  
元禄十一年七月五日  
元禄十一年七月五日

乃思

此乃思也  
此乃思也

素  
素  
素  
素  
素  
素  
素  
素  
素  
素

女

此女也  
此女也

女

此女也  
此女也

乃思

此乃思也  
此乃思也



素 里貴 仁年所長 康也母

寛保二年三月一日... 入世... 他

女 安部氏 仁年所長 康也母

女 安部氏 仁年所長 康也母

女 安部氏 仁年所長 康也母

素 仁年所長 康也母

乃親 仁年所長 康也母

美 仁年所長 康也母

春每

後春

天明二年三月九日...

天明二年三月九日...

天明二年三月九日...

天明二年三月九日...

天明二年三月九日...

天明二年三月九日...

天明二年三月九日...

白武

子内宿屋中丸

升之丞

明和四年三月二十日... 宗三乃御孫

女

子内宿屋中丸

女

子内宿屋中丸

女

子内宿屋中丸

女

為妻

子内宿屋中丸

某

子内宿屋中丸

山内... 御孫

養女

子内宿屋中丸

子内宿屋中丸

子内宿屋中丸

女

子内宿屋中丸

子内宿屋中丸

寶政十一乙事

御使

寶政十一乙事

か  
後

印

小

新  
下  
新  
下  
新  
下

系  
譜

未  
新  
紀  
元  
前  
紀  
元  
後

新  
紀  
元  
前  
紀  
元  
後

新  
紀  
元  
前  
紀  
元  
後  
新  
紀  
元  
前  
紀  
元  
後

友泉

貞

家敬  
碧敬  
暮敬

二二

行貫

三三

貞部  
三威  
新

母

以平五

素

林 継

台德云

揚兵乃... 守兵乃... 守兵乃... 守兵乃...

未  
子  
子

正明

母

林 継

素

素

首人求... 万活... 万活...

丁酉年二月二十日  
 天祖之御年三月十日  
 今村村岡邑色部郡信村所出書後部御封  
 元海之御年三月十日  
 元海之御年三月十日  
 元海之御年三月十日  
 元海之御年三月十日

心念

心念之文  
 心念之文  
 心念之文

心親

心親之文  
 心親之文  
 心親之文

心具

心具之文  
 心具之文  
 心具之文

成房

成房之文  
 成房之文  
 成房之文

成孝

成孝之文  
 成孝之文  
 成孝之文

自心

自心之文  
 自心之文  
 自心之文

女

女之文  
 女之文  
 女之文

女

女之文  
 女之文  
 女之文

女  
如土因  
人... 浅井...

母吉

新三郎

重昌

女  
升一平女

素  
山中... 人...

... 升一平...

... 升一平...

信房

貞之仲信

...

女

...

女

...

正平

女  
人...

...

...

女

元禄十一年十一月廿五日  
元禄十一年十一月廿五日  
元禄十一年十一月廿五日  
元禄十一年十一月廿五日  
元禄十一年十一月廿五日  
元禄十一年十一月廿五日  
元禄十一年十一月廿五日  
元禄十一年十一月廿五日  
元禄十一年十一月廿五日  
元禄十一年十一月廿五日

建永  
母 音

正逸

新印 新印

母 音  
正逸

正信

元禄十一年十一月廿五日  
元禄十一年十一月廿五日  
元禄十一年十一月廿五日  
元禄十一年十一月廿五日  
元禄十一年十一月廿五日  
元禄十一年十一月廿五日  
元禄十一年十一月廿五日  
元禄十一年十一月廿五日  
元禄十一年十一月廿五日  
元禄十一年十一月廿五日

母 音

元禄十一年十一月廿五日  
元禄十一年十一月廿五日  
元禄十一年十一月廿五日  
元禄十一年十一月廿五日  
元禄十一年十一月廿五日  
元禄十一年十一月廿五日  
元禄十一年十一月廿五日  
元禄十一年十一月廿五日  
元禄十一年十一月廿五日  
元禄十一年十一月廿五日

正純

母 音

元禄十一年十一月廿五日  
元禄十一年十一月廿五日  
元禄十一年十一月廿五日  
元禄十一年十一月廿五日  
元禄十一年十一月廿五日  
元禄十一年十一月廿五日  
元禄十一年十一月廿五日  
元禄十一年十一月廿五日  
元禄十一年十一月廿五日  
元禄十一年十一月廿五日

正秋

母 音

元禄十一年十一月廿五日  
元禄十一年十一月廿五日  
元禄十一年十一月廿五日  
元禄十一年十一月廿五日  
元禄十一年十一月廿五日  
元禄十一年十一月廿五日  
元禄十一年十一月廿五日  
元禄十一年十一月廿五日  
元禄十一年十一月廿五日  
元禄十一年十一月廿五日

伊良河程常子

正徳 貞享二年

母 吉

貞享二年九月内産者生後日仍産

母

大徳寺 院中常信為之妻

母

和丸常信 新元右近五郎

正徳

母 吉 貞享二年

元文元年正月三日... 貞享二年... 貞享三年... 貞享四年... 貞享五年... 貞享六年... 貞享七年... 貞享八年... 貞享九年... 貞享十年... 貞享十一年... 貞享十二年... 貞享十三年... 貞享十四年... 貞享十五年... 貞享十六年... 貞享十七年... 貞享十八年... 貞享十九年... 貞享二十年... 貞享二十一年... 貞享二十二年... 貞享二十三年... 貞享二十四年... 貞享二十五年... 貞享二十六年... 貞享二十七年... 貞享二十八年... 貞享二十九年... 貞享三十年... 貞享三十一年... 貞享三十二年... 貞享三十三年... 貞享三十四年... 貞享三十五年... 貞享三十六年... 貞享三十七年... 貞享三十八年... 貞享三十九年... 貞享四十年... 貞享四十一年... 貞享四十二年... 貞享四十三年... 貞享四十四年... 貞享四十五年... 貞享四十六年... 貞享四十七年... 貞享四十八年... 貞享四十九年... 貞享五十年... 貞享五十一年... 貞享五十二年... 貞享五十三年... 貞享五十四年... 貞享五十五年... 貞享五十六年... 貞享五十七年... 貞享五十八年... 貞享五十九年... 貞享六十年... 貞享六十一年... 貞享六十二年... 貞享六十三年... 貞享六十四年... 貞享六十五年... 貞享六十六年... 貞享六十七年... 貞享六十八年... 貞享六十九年... 貞享七十年... 貞享七十一年... 貞享七十二年... 貞享七十三年... 貞享七十四年... 貞享七十五年... 貞享七十六年... 貞享七十七年... 貞享七十八年... 貞享七十九年... 貞享八十年... 貞享八十一年... 貞享八十二年... 貞享八十三年... 貞享八十四年... 貞享八十五年... 貞享八十六年... 貞享八十七年... 貞享八十八年... 貞享八十九年... 貞享九十年... 貞享九十一年... 貞享九十二年... 貞享九十三年... 貞享九十四年... 貞享九十五年... 貞享九十六年... 貞享九十七年... 貞享九十八年... 貞享九十九年... 貞享一百年...

母 中興寺 和徳寺



女

丁卯年  
女 三好氏

某

三好氏

女 吉

某

三好氏

女 吉

心春

入道年 三好氏

養母

三好氏

女 吉

養母

三好氏

天明二年三月廿一日... 入道... 三好氏... 吉

女

三好氏

女

三好氏

女

三好氏

女

三好氏

西久 播磨

西 青

西雅 五郎

西 青

西親 春郎

西 青

西 青

西 青

西 青

西 青

西 青

三ノ子 青 本國之河原三子

上野國新田郡 是也

寛政十一年 青

貞新 青

臣

か  
瑞家乃居  
癸丑之四  
亥

系籍

子  
後  
平  
年  
序  
記

八百  
年  
費  
〇  
家  
記

書  
在  
現  
後  
平  
年  
序  
記  
算  
大  
作

寛永

寛永

寛永

寛永

寛永

寛永

寛永

寛永

寛永

寛永

寛永

寛永

寛永

寛永

寛永

寛永

寛永

百済元成元年生

養育之所

正室六四年生

西院之

人

天

紀

皇

元

皇

國

皇

正

皇

正

皇

皇

皇

皇

皇

河部豊後守殿、謹啓

享保八年八月廿七日、貴方御座に  
申上申す所、謹啓

用事、九月一日、御座に申上申す所、

謹啓

御座に、御座に、御座に、御座に、

御座に、御座に、御座に、御座に、

御座に、御座に、御座に、御座に、

御座に、御座に、御座に、御座に、

御座に、御座に、御座に、御座に、

同六年、御座に、御座に、御座に、御座に、

上國、御座に、御座に、御座に、御座に、

白州、御座に、御座に、御座に、御座に、

御座に、御座に、御座に、御座に、御座に、

御座に、御座に、御座に、御座に、御座に、

御座に、御座に、御座に、御座に、御座に、

御座に、御座に、御座に、御座に、御座に、

御座に、御座に、御座に、御座に、御座に、

御座に、御座に、御座に、御座に、御座に、

御座に、御座に、御座に、御座に、御座に、

御目見付

享保九年中申年十月九日付沙汰事奉用

之り申上

御目見付

同日九月中申年十月九日申上

乃申上之申上

今申上之申上

之り申上

元文二年己酉年十月九日付沙汰事奉用

申上之申上

号西浦流市橋品後位申上

但 諸君有申上之申上

年月日付

申上

正印

養母

實父 此處有書山田明次

實母 此處有

妻 此處有 山田信實之妻

享保九年中十月九日付沙汰事奉用

申上之申上

元禄九年壬子年七月

右年夏月... 德心... 年... 月... 日... 亥

...

享保九年甲辰年七月... 亥

...

...

...

...

...

泰亦... 号... 西... 院... 祐... 心

正堅

人服

女子

祖父... 德心... 年... 月... 日... 亥

...

...

...

...

正延

...

...

...



享保元年庚申年甲子月廿七日壬午時生於  
播磨守之元宅新田庄内山崎村山崎庄

正堅

人

生母

実父

貞年之妻

実母

家母

妻

山崎村山崎庄山崎庄

享保元年庚申年甲子月廿七日壬午時生於  
山崎庄内山崎庄山崎庄

幼名 佐三郎

同 年 之 月 日 時 分 生 於 播 磨 守 之 元 宅 新 田 庄 内 山 崎 村 山 崎 庄

同 月 十 日 申 時 生 於 播 磨 守 之 元 宅 新 田 庄 内 山 崎 村 山 崎 庄

元 年 之 月 日 時 分 生 於 播 磨 守 之 元 宅 新 田 庄 内 山 崎 村 山 崎 庄

貞 年 之 妻 之 元 宅 新 田 庄 内 山 崎 村 山 崎 庄

之 元 宅 新 田 庄 内 山 崎 村 山 崎 庄

年 月 日 時 分 生 於 播 磨 守 之 元 宅 新 田 庄 内 山 崎 村 山 崎 庄

貞 年 之 妻 之 元 宅 新 田 庄 内 山 崎 村 山 崎 庄

同 月 日 時 分 生 於 播 磨 守 之 元 宅 新 田 庄 内 山 崎 村 山 崎 庄

貞 年 之 妻 之 元 宅 新 田 庄 内 山 崎 村 山 崎 庄

正時

室曆以甲戌年... 正時

... 正時

... 正時

... 正時

... 正時

女子

母 家女

女子

母 子嗣

正時

母 正時

案 正時

室曆... 正時

酒升... 正時

子祀入

年月... 正時

明和... 正時

正賢下教誨 淨行學堂 齋堂  
安永紀上事年二十行藏之元  
聖者上教誨 淨行學堂 齋堂  
多摩子元羽之藏部 齋堂  
淨行學堂 齋堂  
以八色 齋堂 二十行藏之元  
上賢之如  
天明六 齋堂 二十行藏之元  
在御發志 齋堂 二十行藏之元  
安永紀上事年二十行藏之元

正賢下教誨 淨行學堂 齋堂  
安永紀上事年二十行藏之元  
聖者上教誨 淨行學堂 齋堂  
多摩子元羽之藏部 齋堂  
淨行學堂 齋堂  
以八色 齋堂 二十行藏之元  
上賢之如  
天明六 齋堂 二十行藏之元  
在御發志 齋堂 二十行藏之元  
安永紀上事年二十行藏之元

某  
子也  
母 上賢

正賢

人眼 齋堂 齋堂  
正賢 齋堂 齋堂  
齋堂 齋堂 齋堂

実父

甲辰卯吉

水之石路

山内因彦山内照三

山内因彦

甲辰卯吉

実母

山内因彦正方

書

山内因彦正母

實父及母正年八月十五日

山内因彦正母

山内因彦

明和元年丁亥年八月十五日

實父及母正年八月十五日

山内因彦正母

山内因彦正母

山内因彦正母

山内因彦正母

山内因彦正母

山内因彦正母

山内因彦正母

山内因彦正母

山内因彦正母

山内因彦正母

山内因彦正母

能行月日...

上野...

寛政八年庚午十月...

子記...

...

...

...

...

...

...

女子

母

...

女子

...

母

女子

母

御目録

正後

...

母

...

...

...

石之門

三石之門 宝飯郡内

惜事部

本國冬海 洋船所及

東之番子

瑞石海部

生國部

寶之政上巳事九月

光人

〇

未三月十日  
山田紀後

後事  
三石之番 〇 堀田豊前守

系譜

忍嶋家

か  
後  
山田紀後  
新之部  
山田紀後  
山田紀後

御書院番山田紀後  
山田紀後

藤原姓

貞

惣領家

大藏冠源足流胤次子由經食實世孫其  
後二子之右之右孫任貞見法高源於河原

初忠公奉仁而後傳曰清和門下  
長親云信忠公上奉仁

幕之致

乃也云云

家之致

乃也云云

道法門下河原

平三郎

善書師

重忠

母素

石紙

母素 石紙

永正九之申年生之別

源原末上能之別古上奉仁信後代

源家源奉之下古右家源仰高公常河内公

相和公河内公

源忠公之別長壽之河原信行高常信等之長

忠傳忠公之別河原信行高常信等之長

高書師信行高常信等之長

天文八之丁丑年十月十日夜之長高常信等之長

初為河内河原信行高常信等之長

初為河内河原信行高常信等之長

初為河内河原信行高常信等之長

初為河内河原信行高常信等之長

初為河内河原信行高常信等之長

右河内抄

仁徳天皇御宇  
御宇に於て  
御宇に於て  
御宇に於て

天武天皇御宇  
御宇に於て

御宇に於て

神皇正統記  
御宇に於て

御宇に於て  
御宇に於て

天武天皇

御宇に於て

御宇に於て

御宇に於て

御宇に於て

御宇に於て

御宇に於て

正則

御宇に於て

御宇に於て

御宇に於て

御宇に於て

御宇に於て



正堂

平賀神也文

正長松也切

母 石部

水戸殿上奉仁

神系上奉仁

重成

平十郎 中命 勘定

母 石部 石門或抄部母

天久生也年生二列

神系上奉仁

尾別石部或抄部母

水戸殿上奉仁 平十郎 中命 勘定

尾別石部或抄部母 天久生也年生二列

尾別石部或抄部母 天久生也年生二列

尾別石部或抄部母 天久生也年生二列

尾別石部或抄部母 天久生也年生二列

尾別石部或抄部母 天久生也年生二列

尾別石部或抄部母 天久生也年生二列

尾別石部或抄部母 天久生也年生二列

尾別石部或抄部母 天久生也年生二列

尾別石部或抄部母 天久生也年生二列

尾別石部或抄部母 天久生也年生二列

尾別石部或抄部母 天久生也年生二列

尾別石部或抄部母 天久生也年生二列

尾別石部或抄部母 天久生也年生二列

尾別石部或抄部母 天久生也年生二列

右所書各條并其封卷後下之五向大員  
 其外門牌門牌信記  
 元成元年六月十日  
 元成二年六月十日  
 元成三年六月十日  
 元成四年六月十日  
 元成五年六月十日  
 元成六年六月十日  
 元成七年六月十日  
 元成八年六月十日  
 元成九年六月十日  
 元成十年六月十日

女 二列八條  
 母 上向 女 二列八條

元成

今平 如左  
 素 元成元年六月十日

永德四年六月十日

為春

母 上向

神

常所 買見海氏之保親家

某

神 母 上向

某 某

中夜古風集

如古

中夜古風集

如古

竹園集

如古

正次

如古

相持國入信部之行

相持國入信部之行

白雲山... 中夜古風集

如古

如古

中夜古風集... 竹園集

正次

如古

書附頁

正堂

正堂  
母上

正堂  
母上

正堂  
母上

正堂  
母上

正

正  
母上

正  
母上

某

某  
母上

某  
母上

正

正  
母上

正  
母上

正  
母上

正

正  
母上

正  
母上

正  
母上

正

正  
母上

正  
母上

上野内七郎  
 同平青子太公海取定地所立此家因名  
 天行有保者吾保名同日本官海取  
 正徳二年平上青子太公海取  
 奉引号左意

正忠

平二弟

母 家女 素 神田氏女

元治二年平上青子太公海取  
 正徳二年平上青子太公海取  
 奉引号左意

昌興

母 上野内七郎

少

母 上野内七郎  
 奉引号左意

白直

母 津田氏女

元治二年平上青子太公海取  
 正徳二年平上青子太公海取  
 奉引号左意

正清

母 津田氏女

元治二年平上青子太公海取  
 正徳二年平上青子太公海取  
 奉引号左意

母 津田氏女  
 元治二年平上青子太公海取  
 正徳二年平上青子太公海取  
 奉引号左意

宣和九年庚午二月五日  
 元文五甲申年九月五日  
 宣和二年十月十日  
 宣和三年十一月十日  
 宣和四年十二月十日  
 宣和五年正月十日  
 宣和六年二月十日  
 宣和七年三月十日  
 宣和八年四月十日  
 宣和九年五月十日  
 宣和十年六月十日  
 宣和十一年七月十日  
 宣和十二年八月十日  
 宣和十三年九月十日  
 宣和十四年十月十日  
 宣和十五年十一月十日  
 宣和十六年十二月十日  
 宣和十七年正月十日  
 宣和十八年二月十日  
 宣和十九年三月十日  
 宣和二十年四月十日  
 宣和二十一年五月十日  
 宣和二十二年六月十日  
 宣和二十三年七月十日  
 宣和二十四年八月十日  
 宣和二十五年九月十日  
 宣和二十六年十月十日  
 宣和二十七年十一月十日  
 宣和二十八年十二月十日  
 宣和二十九年正月十日  
 宣和三十年二月十日  
 宣和三十一年三月十日  
 宣和三十二年四月十日  
 宣和三十三年五月十日  
 宣和三十三年六月十日  
 宣和三十三年七月十日  
 宣和三十三年八月十日  
 宣和三十三年九月十日  
 宣和三十三年十月十日  
 宣和三十三年十一月十日  
 宣和三十三年十二月十日

女

可養乃 乙卯初九日  
 母 青

養女

宣和三年八月十日  
 宣和四年九月十日

正陽

老而 幼而

母 白雲女

宣和二年八月十日  
 宣和三年九月十日

宣和四年十月十日  
 宣和五年十一月十日  
 宣和六年十二月十日  
 宣和七年正月十日  
 宣和八年二月十日  
 宣和九年三月十日  
 宣和十年四月十日  
 宣和十一年五月十日  
 宣和十二年六月十日  
 宣和十三年七月十日  
 宣和十四年八月十日  
 宣和十五年九月十日  
 宣和十六年十月十日  
 宣和十七年十一月十日  
 宣和十八年十二月十日  
 宣和十九年正月十日  
 宣和二十年二月十日  
 宣和二十一年三月十日  
 宣和二十二年四月十日  
 宣和二十三年五月十日  
 宣和二十四年六月十日  
 宣和二十五年七月十日  
 宣和二十六年八月十日  
 宣和二十七年九月十日  
 宣和二十八年十月十日  
 宣和二十九年十一月十日  
 宣和三十年十二月十日  
 宣和三十一年正月十日  
 宣和三十二年二月十日  
 宣和三十三年三月十日

此乃教習上之姓名也  
正乙 柳元九郎之丞

母 氏名  
正乙之弟年九十一  
其 氏名  
母 氏名

女 氏名  
女 氏名  
女 氏名  
女 氏名  
女 氏名

女 氏名  
女 氏名  
女 氏名  
女 氏名

春女 氏名  
氏名 氏名

氏名 氏名

氏名 氏名  
氏名 氏名  
氏名 氏名  
氏名 氏名  
氏名 氏名  
氏名 氏名

實政之弟年九  
氏名 氏名  
氏名 氏名

か  
陽明山  
行  
癸丑之夏

系

事  
全

八百  
〇

人  
遠  
員



夏永成

寛

幕之致

家之致

習之致

之致乃也

之致乃也

訂貫

新大前家四書

初意 七言三句 新大前家

正興

母 相中女

素 相馬少前信胤女

安永四年十月十日 新大前家

安永二年十月十日

神田門前 安永八年十月十日

元禄五年十月十日 安永八年十月十日

安永八年十月十日

新大前 相中女

相中女

安永六年十月十日

安永八年十月十日

安永六年十月十日

安永八年十月十日

安永六年十月十日

正直

高保元三年十月  
源田流傳所用人殿知信家上書以押沙後

以中平年九月  
高保元九年十月

高保元十一年八月  
高保元十三年七月  
高保元十五年六月  
高保元十七年五月  
高保元十九年四月  
高保元二十一年三月  
高保元二十三年二月  
高保元二十五年一月

女 高保元  
高保元十一年八月  
高保元十三年七月  
高保元十五年六月  
高保元十七年五月  
高保元十九年四月  
高保元二十一年三月  
高保元二十三年二月  
高保元二十五年一月

女 高保元  
高保元十一年八月  
高保元十三年七月  
高保元十五年六月  
高保元十七年五月  
高保元十九年四月  
高保元二十一年三月  
高保元二十三年二月  
高保元二十五年一月

正信 高保元

高保元

高保元  
高保元十一年八月  
高保元十三年七月  
高保元十五年六月  
高保元十七年五月  
高保元十九年四月  
高保元二十一年三月  
高保元二十三年二月  
高保元二十五年一月

高保元  
高保元十一年八月  
高保元十三年七月  
高保元十五年六月  
高保元十七年五月  
高保元十九年四月  
高保元二十一年三月  
高保元二十三年二月  
高保元二十五年一月

高保元  
高保元十一年八月  
高保元十三年七月  
高保元十五年六月  
高保元十七年五月  
高保元十九年四月  
高保元二十一年三月  
高保元二十三年二月  
高保元二十五年一月



母 寛氏女

神皇正統記 田中氏之出也

安元五年甲午生 戸部省左近衛

平中十三年甲子生 左近衛右衛門

平二七年己未生 左近衛右衛門

正剛 三條

母 青

享保十五年甲午生 左近衛

女

母 上青

享保十五年甲午生 左近衛

正乙

卷母 乙卯

安元五年甲午生 戸部省左近衛

平中十三年甲子生 左近衛右衛門

平二七年己未生 左近衛右衛門

安永六年己未生 左近衛右衛門

天明七年壬辰生 左近衛右衛門

安永六年己未生 左近衛右衛門

母 人久

母 青

女

母 上青

享保十五年甲午生 左近衛

正央

（一）

母 家女

素給 野名路の七田切に申一運自母  
 明和二年申月廿五日  
 長承七年二月廿日自入石河原に在り  
 丁卯年  
 天明八年甲午三月廿五日  
 安永四年乙未三月廿七日  
 安永五年丙申三月廿七日  
 安永六年丁酉三月廿七日  
 安永七年戊戌三月廿七日  
 安永八年己亥三月廿七日  
 安永九年庚子三月廿七日  
 安永十年辛丑三月廿七日  
 安永十一年壬寅三月廿七日  
 安永十二年癸卯三月廿七日  
 安永十三年甲辰三月廿七日  
 安永十四年乙巳三月廿七日  
 安永十五年丙午三月廿七日  
 安永十六年丁未三月廿七日  
 安永十七年戊申三月廿七日  
 安永十八年己酉三月廿七日  
 安永十九年庚戌三月廿七日  
 安永二十年辛亥三月廿七日  
 安永二十一年壬子三月廿七日  
 安永二十二年癸丑三月廿七日  
 安永二十三年甲寅三月廿七日  
 安永二十四年乙卯三月廿七日  
 安永二十五年丙辰三月廿七日  
 安永二十六年丁巳三月廿七日  
 安永二十七年戊午三月廿七日  
 安永二十八年己未三月廿七日  
 安永二十九年庚申三月廿七日  
 安永三十年辛酉三月廿七日  
 安永三十一年壬戌三月廿七日  
 安永三十二年癸亥三月廿七日  
 安永三十三年甲子三月廿七日  
 安永三十四年乙丑三月廿七日  
 安永三十五年丙寅三月廿七日  
 安永三十六年丁卯三月廿七日  
 安永三十七年戊辰三月廿七日  
 安永三十八年己巳三月廿七日  
 安永三十九年庚午三月廿七日  
 安永四十年辛未三月廿七日  
 安永四十一年壬申三月廿七日  
 安永四十二年癸酉三月廿七日  
 安永四十三年甲戌三月廿七日  
 安永四十四年乙亥三月廿七日  
 安永四十五年丙子三月廿七日  
 安永四十六年丁丑三月廿七日  
 安永四十七年戊寅三月廿七日  
 安永四十八年己卯三月廿七日  
 安永四十九年庚辰三月廿七日  
 安永五十年辛巳三月廿七日  
 安永五十一年壬午三月廿七日  
 安永五十二年癸未三月廿七日  
 安永五十三年甲申三月廿七日  
 安永五十四年乙酉三月廿七日  
 安永五十五年丙戌三月廿七日  
 安永五十六年丁亥三月廿七日  
 安永五十七年戊子三月廿七日  
 安永五十八年己丑三月廿七日  
 安永五十九年庚寅三月廿七日  
 安永六十年辛卯三月廿七日  
 安永六十一年壬辰三月廿七日  
 安永六十二年癸巳三月廿七日  
 安永六十三年甲午三月廿七日  
 安永六十四年乙未三月廿七日  
 安永六十五年丙申三月廿七日  
 安永六十六年丁酉三月廿七日  
 安永六十七年戊戌三月廿七日  
 安永六十八年己亥三月廿七日  
 安永六十九年庚子三月廿七日  
 安永七十年辛丑三月廿七日  
 安永七十一年壬寅三月廿七日  
 安永七十二年癸卯三月廿七日  
 安永七十三年甲辰三月廿七日  
 安永七十四年乙巳三月廿七日  
 安永七十五年丙午三月廿七日  
 安永七十六年丁未三月廿七日  
 安永七十七年戊申三月廿七日  
 安永七十八年己酉三月廿七日  
 安永七十九年庚戌三月廿七日  
 安永八十年辛亥三月廿七日  
 安永八十一年壬子三月廿七日  
 安永八十二年癸丑三月廿七日  
 安永八十三年甲寅三月廿七日  
 安永八十四年乙卯三月廿七日  
 安永八十五年丙辰三月廿七日  
 安永八十六年丁巳三月廿七日  
 安永八十七年戊午三月廿七日  
 安永八十八年己未三月廿七日  
 安永八十九年庚申三月廿七日  
 安永九十年辛酉三月廿七日  
 安永九十一年壬戌三月廿七日  
 安永九十二年癸亥三月廿七日  
 安永九十三年甲子三月廿七日  
 安永九十四年乙丑三月廿七日  
 安永九十五年丙寅三月廿七日  
 安永九十六年丁卯三月廿七日  
 安永九十七年戊辰三月廿七日  
 安永九十八年己巳三月廿七日  
 安永九十九年庚午三月廿七日  
 安永一百年辛未三月廿七日

寛政八年三月廿七日  
 七石石川町

正忠 永子

石川町

石川町

寛政八年三月廿七日  
 八石

か  
後

未長月  
南波肥家

系譜

三  
南波肥家  
○  
南波肥家

川  
南波肥家  
南波肥家

*[Faint handwritten text, likely bleed-through from the reverse side of the page]*

Handwritten text in a rectangular box at the top of the right page.

Handwritten text in a rectangular box at the bottom of the right page.

友東社 算

水級

水級

水級

算部在門之成官

正定

如

素

生

台徳公門氏

12年高長門之安

高長門

訂費

訂費

寛政九年八月八日入部後以...

人献公御代

年月日右紙由列部元部自右部行  
右部行右部行或右部行右部行  
之部部部部部部部部部部

御代

而保之而年以右部行

常文七事年以部部部部部部

年月日右部部部部部部部部部部

年月日八中平二月七日七部部部

通系右部部部部部部部部部部

号政平院部部部部

人部部部部部部部部部部

重渡

母 右紙

末

年月日右紙

人献公

御代



兼水公五年十月五日  
年月日名無沙抄作  
或可後より至

實人二年十月七日  
作

以八中平海目

延室八中平十月十日  
入

五源記事平十月十日  
入

世下十月十日  
入

石上首及石紙

女子

子世

母 石紙

正利

母 石紙

妻 石紙

生口房

實人元元年十月十日

所自見

以八中平十月十日  
入

石上首及石紙

正道

左傳曰去年十月乃始歸國  
年十月乃始歸國  
享保九月庚午七日壬午  
壽正廣尾慈眼出光極守  
号 正利流乃后

如

石部

分正德信

養有云 御八

年十月乃始歸國  
享保九月庚午七日壬午  
壽正廣尾慈眼出光極守

正盈

如

石部

分正德信

天相正德信  
享保九月庚午七日壬午  
壽正廣尾慈眼出光極守

正次

三原屋

母 石紙

妻

弟 賢治

石田玄吉女

生 石屋

天保三年七月十日

御目見付

石田玄吉

三原屋

天保九年十月

正興

石田玄吉  
天保九年十月十日  
御目見付

石田玄吉

弟 賢治

母 石紙

天保十三年  
石田玄吉

如子

母

弟 賢治

神田玄吉

石紙

正武

右部 内儀 正武 御座

山崎 御座

山崎 御座

山崎

山崎

右部 内儀

右部 内儀 正武 御座  
山崎 御座  
山崎 御座  
山崎 御座  
山崎 御座  
山崎 御座  
山崎 御座  
山崎 御座  
山崎 御座  
山崎 御座

正武 御座

山崎 御座

山崎 御座

山崎 御座

山崎

山崎 御座

山崎 御座

山崎 御座

山崎 御座

山崎 御座

室暦三年三月廿一日

孝公 上皇 御成敗式目紙巻之巻一

國司院書收御成敗式目紙巻

以紙入 三年三月廿一日

皇後 皇女 皇孫

以紙入 三年三月廿一日

以紙入 三年三月廿一日

以紙入 三年三月廿一日

以紙入 三年三月廿一日

以紙入 三年三月廿一日

正卷

治部

三年三月廿一日

皇女

皇孫

皇孫

以紙入 三年三月廿一日

以紙入 三年三月廿一日

以紙入 三年三月廿一日

以紙入

以紙入 三年三月廿一日



天保十四年三月廿一日  
正安

正安

正安  
正安

正安

正安

正安

正安

正安

正安

正安

正安

正安

正安

正安







石道山記

石道山記 本國大石 活版所  
石道山記 本國大石 活版所

寶政上元事年有 寶之節意之節

連防國通記

寶之節意之節 寶之節意之節

系譜

力 連防國通記

寶之節意之節 寶之節意之節

藤原氏

兼之致

云云

家之致

同新

皇德

皇德

母弟

神皇正統記卷之四十四 藤原氏之世系

大感云所居者多矣

皇德元年甲子二月七日

正知

皇德元年甲子二月七日

家女

皇德元年甲子二月七日

皇德元年甲子二月七日

皇德元年甲子二月七日

皇德元年甲子二月七日

皇德元年甲子二月七日

某

皇德元年甲子

皇德

皇德元年

皇德元年

皇德元年甲子二月七日



幸途

藤原のり 号 敬三院 皇女

母上旨 延喜元年 御成婚 御成婚 御成婚

女

御成婚 延喜元年 御成婚 御成婚

保政

母上旨 延喜元年

延喜元年 延喜元年 延喜元年 延喜元年

保芳

母上旨 延喜元年

保規

延喜元年 延喜元年 延喜元年 延喜元年

延喜元年 延喜元年 延喜元年 延喜元年



母 貞女

某 貞東馬

母 吉

某 貞家吉

母 吉

右之通

三之番

寛政十一年十月 貞海

〇

事  
三

貞女

三〇

貞家吉  
系

か  
後

貞家吉  
貞海





以八房中平十乃... 起清

忠明

忠明

母

...

忠明... 忠明... 忠明... 忠明... 忠明...

忠文

忠文... 忠文... 忠文...

西浦

西浦... 西浦...

忠子

忠子... 忠子... 忠子...

忠

忠... 忠...

右左

右左... 右左... 右左...

正定

宣和二年三月二十一日... 宣和二年三月二十一日... 宣和二年三月二十一日...  
宣和二年三月二十一日... 宣和二年三月二十一日... 宣和二年三月二十一日...  
宣和二年三月二十一日... 宣和二年三月二十一日... 宣和二年三月二十一日...

女子

宣和二年三月二十一日... 宣和二年三月二十一日... 宣和二年三月二十一日...

正定

宣和二年三月二十一日... 宣和二年三月二十一日... 宣和二年三月二十一日...  
宣和二年三月二十一日... 宣和二年三月二十一日... 宣和二年三月二十一日...

宣和

宣和二年三月二十一日... 宣和二年三月二十一日... 宣和二年三月二十一日...  
宣和二年三月二十一日... 宣和二年三月二十一日... 宣和二年三月二十一日...  
宣和二年三月二十一日... 宣和二年三月二十一日... 宣和二年三月二十一日...

各道

宣和二年三月二十一日... 宣和二年三月二十一日... 宣和二年三月二十一日...  
宣和二年三月二十一日... 宣和二年三月二十一日... 宣和二年三月二十一日...  
宣和二年三月二十一日... 宣和二年三月二十一日... 宣和二年三月二十一日...

名又の事年二十の時に此の山に志あり  
の事ありて之を以て  
宗の傳に奉じて年二十の時に此の山に志あり  
宗の傳に奉じて年二十の時に此の山に志あり

女子 山に志ありて之を以て宗の傳に奉じて年二十の時に此の山に志あり

女子 山に志ありて之を以て宗の傳に奉じて年二十の時に此の山に志あり

忠臣

忠臣の事年二十の時に此の山に志あり  
宗の傳に奉じて年二十の時に此の山に志あり

宗の傳に奉じて年二十の時に此の山に志あり  
宗の傳に奉じて年二十の時に此の山に志あり

宗の傳に奉じて年二十の時に此の山に志あり

女子 山に志ありて之を以て宗の傳に奉じて年二十の時に此の山に志あり

宗の傳に奉じて年二十の時に此の山に志あり

忠臣

忠臣の事年二十の時に此の山に志あり  
宗の傳に奉じて年二十の時に此の山に志あり



か

編家抄鳥

全書二  
巻

系譜

東三河  
内庭中抄巻之七

系譜

八百九十九番〇城田系

大所書内庭中抄巻之七

首巻抄尾巻門

藤原性

負

幕之故

家之故

誓之故

三ツ原色

同

汀貫

負之義正合

正庸

母

素

此所由

新名門

右名門

古名門

最

向井右衛門直名母

浪

浅田甚右衛門直名母

明治二十九年刊 武蔵國

表有云 卯辰万石云云 卯辰八月十二日

卯辰元任 卯辰六十年三月廿九日 卯辰

卯辰卯辰百石 卯辰卯辰卯辰卯辰卯辰

卯辰卯辰卯辰卯辰卯辰卯辰卯辰卯辰

卯辰卯辰卯辰卯辰卯辰卯辰卯辰卯辰

卯辰卯辰卯辰卯辰卯辰卯辰卯辰卯辰

卯辰卯辰卯辰卯辰卯辰卯辰卯辰卯辰

卯辰卯辰卯辰卯辰卯辰卯辰卯辰卯辰

卯辰卯辰卯辰卯辰卯辰卯辰卯辰卯辰

卯辰卯辰卯辰卯辰卯辰卯辰卯辰卯辰

卯辰卯辰卯辰卯辰卯辰卯辰卯辰卯辰

卯辰卯辰卯辰卯辰卯辰卯辰卯辰卯辰

卯辰卯辰卯辰卯辰卯辰卯辰卯辰卯辰

卯辰卯辰卯辰卯辰卯辰卯辰卯辰卯辰

卯辰卯辰卯辰卯辰卯辰卯辰卯辰卯辰

卯辰卯辰卯辰卯辰卯辰卯辰卯辰卯辰

正色元年辛卯年十月廿九日切弗門  
者之以此作好

享保元而中華年通二年古初病系

二區設也所取中二國一國年三月

十二百類一過也設 即免也書法也

人揚取者之組上入享保元也書年八月

二也書保組水并官月也書保元年

去月六日六午六 一病死年也書可然也

奔心庸院也下 其如也亦改於

元保元五也書年十月七 其如也亦改於

新馬場御所收者許也其書保元也  
保元元年也 保元元年也  
人出者相和也保元元年也  
收也也也

正色

五帝史

母 浪人 後田吉兵衛 孫也

元保元甲戌年寅日也其書保元也  
其書保元也其書保元也其書保元也  
其書保元也其書保元也其書保元也



彌岡月三十一日  
國年七月廿五日  
方解人  
少弟

正宗

初七節

母

海人

淡田

妻

弟

出  
山

如家  
物願  
室水  
己  
國年  
父

節多保四之金平有六百兩宛  
 同平三月廿日父以武部吉吉母之  
 河内教之流後由之部吉吉初極財  
 在作之部之節病病有吉吉初極財  
 吉吉初極財之部吉吉初極財  
 節多保四之金平有六百兩宛  
 同平三月廿日父以武部吉吉母之  
 河内教之流後由之部吉吉初極財  
 在作之部之節病病有吉吉初極財  
 吉吉初極財之部吉吉初極財

度在石水

女子

母

久保山吉之石水  
 淡田吉吉之石水

心保

母

家女

妻

吉吉初極財之子年 親生 吉吉初極財



細推次第... 諸國... 相... 正徳元年二月...

来 冊

冊

極誠... 冊

三 冊

冊

冊

冊

冊

書

神保... 冊

此書... 九月... 宣... 正徳元年...

此書... 冊... 正徳元年...

孝

國年六月廿三日...  
天明年...  
貞觀元年...  
子繼院...  
貞觀元年...  
貞觀元年...

母

家女

宣德二年...  
安永二年...  
天保元年...  
貞觀元年...

孝

母

福村...  
貞觀元年...

孝

山

元元堂藏書

冊

石門清室門政友女

天明八年甲申年正月廿七日

正武

正武

石門

養母

神保集人女園女

實父

石門清室門政友

實母

家母

素

石門清室門政友

室曆十二卷事九月九日正武所圖  
實父政元已酉年十月廿五日正武所圖  
祖母因武部文配之節甲子室曆  
繪之室曆九月廿五日正武所圖  
二月廿五日正武所圖  
三月廿五日正武所圖  
四月廿五日正武所圖  
五月廿五日正武所圖  
六月廿五日正武所圖  
七月廿五日正武所圖  
八月廿五日正武所圖  
九月廿五日正武所圖  
十月廿五日正武所圖  
十一月廿五日正武所圖  
十二月廿五日正武所圖

同平九月十日卷文法部改或日年  
以台抄平以法及法法改或日年  
書法改或平內成或法改或日年  
九月十日同平改或日年

所自日之同平改或日年  
之改或日年

同平九月十日卷文法部改或日年  
以台抄平以法及法法改或日年  
書法改或平內成或法改或日年  
九月十日同平改或日年

上改或日年

六月廿七日  
戶部改或日年  
成國丁巳事年六月廿七日  
改或日年

同平九月十日卷文法部改或日年  
以台抄平以法及法法改或日年  
書法改或平內成或法改或日年  
九月十日同平改或日年

女子

貞子

母

貞子

女子

母

母

神保年人貞子

某

母

貞子

貞子

女子

母

母

貞子

女子

母

貞子

女子

母

貞子

右之通

三三

本國三所  
生國武藏

右之通表二番所



寛政十一年

寛政十一年

三

*[Faint handwritten text, possibly bleed-through from the reverse side]*

東正百九十九  
坂田重太郎

八百八十八番  
坂田重太郎

系譜

カ

陽家新三郎  
江島好太郎  
妻江島三度

大所書  
坂田重太郎  
寛政十一年



長盛

年一節 二節三節 四節五節

母 向丹氏女

妻 德和院貞女 貞女 貞女

承 德和院貞女 貞女 貞女

貞女 貞女 貞女 貞女 貞女 貞女

貞女 貞女 貞女 貞女 貞女 貞女

貞女 貞女 貞女 貞女 貞女 貞女

貞女 貞女 貞女 貞女 貞女 貞女

正庸

母 貞女

貞女 貞女 貞女 貞女 貞女 貞女

正章

母 貞女

貞女 貞女 貞女 貞女 貞女 貞女

女

貞女 貞女 貞女 貞女 貞女 貞女

正色

新女部 貞女

貞女 貞女 貞女 貞女 貞女 貞女

貞女 貞女 貞女 貞女 貞女 貞女

貞女 貞女 貞女 貞女 貞女 貞女

貞女 貞女 貞女 貞女 貞女 貞女

貞女 貞女 貞女 貞女 貞女 貞女

貞女 貞女 貞女 貞女 貞女 貞女



八之健

長一節

母上旨

宣下上元年九月十六日

奉門口旨

如

宣下上元年九月十六日

母上旨

心一

宣下上元年九月十六日

宣下上元年九月十六日

宣下上元年九月十六日

宣下上元年九月十六日

宣下上元年九月十六日

宣下上元年九月十六日

宣下上元年九月十六日

宣下上元年九月十六日

宣下上元年九月十六日

宣下上元年九月十六日

宣下上元年九月十六日

宣下上元年九月十六日

宣下上元年九月十六日

宣下上元年九月十六日

宣下上元年九月十六日

宣下上元年九月十六日

宣下上元年九月十六日

宣下上元年九月十六日

宣下上元年九月十六日

宣下上元年九月十六日

女 養子 正一 某

母 家母

某

母 平之助 父 中政 母 某

正帯

母 百子 母 某

某

母 灌之助 父 某

正意

浪之助

母 上岡

養女

美之助 父 某 母 某

右之通 正之助 父 某

三之八 白後 本國 三河

市 某 父 付 人 住 守 前 松平 揚 津 守 上 之 氏 之 内

實政 之 子 某 年 青

實五 府 長 門 坊 未 年 四 月

五月  
渡辺平十郎公

系譜

八月  
八百五十五番。坂田平十郎

か

備後新上  
心成中  
冬九二番

小笠原  
渡辺平十郎  
八百五十五番

夏長  
寬

幕之級  
家之級

二之級  
三之級  
訂費

新  
成房

大

母 何

素 幕

實

正

在

在

辛

母 誰

七

素 幕

實

正

在

在

又

母

在

心

母 誰

實

正





女

安 昭子方 唐順海師佐政女

行非若孫所出所右年

天明七年九月五日

女

行非若孫所出所右年

母 昭子方 唐順海師佐政女

白意

實川書 大阿内云云云云

宣母 昭子方

右 昭子方 唐順海師佐政女

高音依

本國三河

赤坂能夜

寛政十一年正月

寛政十一年正月

享和三年正月

寛政十一年正月

為

未三行大石  
建訪回遊記

八百平  
建訪回遊記

系譜

か  
三行の系系  
考其之友

人所著  
建訪回遊記  
八百平之傳

夏生姓

貞

幕後 陸海自任色  
家之級 三ツ成凡也  
督後 訂貫

貞之弟長門守次郎

貞之弟長門 八年春

正道

母 石部

妻 陸海自任色 野呂法定弘家

明曆二年八月廿五日  
貞之弟長門守次郎  
大正四年十月廿五日  
貞之弟長門守次郎  
貞之弟長門守次郎

正胡

母 野呂氏女

妻 水谷氏女

貞之弟長門守次郎  
貞之弟長門守次郎  
貞之弟長門守次郎  
貞之弟長門守次郎  
貞之弟長門守次郎  
貞之弟長門守次郎  
貞之弟長門守次郎  
貞之弟長門守次郎  
貞之弟長門守次郎  
貞之弟長門守次郎

華門の号 西別院新教院

母 青

母 青

西自

母 水

宣平二年十月廿七日自院新教院

宣平二年十月廿七日自院新教院

西俊

母 水

宣平二年十月廿七日自院新教院

宣平二年十月廿七日自院新教院

西自

母 水

宣平二年十月廿七日自院新教院

宣平二年十月廿七日自院新教院

西

母 水

女

順正印子紀  
次下北陽輝  
母上白  
小幡今平常少事

女

母 四合女

平昌

此見之歳少事

母 四合女

実 中

妻 以良吉 貞節 貞節 貞節

生 貞節 貞節 貞節 貞節

妻 下 送 貞節 貞節 貞節

生 貞節 貞節 貞節 貞節

生 貞節 貞節 貞節 貞節

天明六年平二子生  
天明八年甲申年丹行生  
生貞節 貞節 貞節 貞節  
生貞節 貞節 貞節 貞節

養女

此見之歳少事

生 貞節

生 貞節

生 貞節 貞節 貞節 貞節  
生 貞節 貞節 貞節 貞節

正茂

貞節

女

生 貞節

生 貞節 貞節 貞節 貞節

生 貞節

生 貞節

生 貞節

生 貞節 貞節 貞節 貞節

生 貞節

生 貞節 貞節 貞節 貞節



加  
差

加  
差

系  
譜

未  
了  
五  
日  
也

加  
差  
音  
長  
○  
呼  
喚  
也

即  
先  
門  
法  
師  
也

實  
傳  
之  
節



藤原姓

寛

藤原  
家敏  
智敏

信房  
信房  
河内  
河内

新大正

成孝

新印

母

林氏

妻

神田氏  
山田氏

寛永九年七月廿七日  
寛文五年七月廿七日  
寛文五年七月廿七日  
寛文五年七月廿七日  
寛文五年七月廿七日

同九年九月廿七日  
寛文五年七月廿七日  
寛文五年七月廿七日  
寛文五年七月廿七日

正章

正章

生母

山田氏

寛文五年七月廿七日  
寛文五年七月廿七日  
寛文五年七月廿七日  
寛文五年七月廿七日

寛文五年七月廿七日  
寛文五年七月廿七日  
寛文五年七月廿七日  
寛文五年七月廿七日  
寛文五年七月廿七日





明和七年八月改号多良志了り福中寺

名別明知し  
安永三年二月廿五日高松改号中

此書門下後相所  
人並ふ所あり

安永九年八月廿五日  
安永九年八月廿五日

後徳川氏相所  
船舟湯と相所し

天明二年八月廿五日  
天明二年八月廿五日

天明二年八月廿五日  
天明二年八月廿五日

三ノ目付一ノ目付

安永二年八月廿五日  
安永二年八月廿五日

安永二年八月廿五日  
安永二年八月廿五日

安永二年八月廿五日  
安永二年八月廿五日

安永二年八月廿五日  
安永二年八月廿五日

安永二年八月廿五日  
安永二年八月廿五日

安永二年八月廿五日  
安永二年八月廿五日

至糸

御成布

母 糸女

正一

貞元二年申 御成 糸女

御成 糸女  
貞元二年申 御成 糸女  
貞元二年申 御成 糸女

女

御成 糸女

貞元二年申 御成 糸女

女

御成 糸女

貞元二年申 御成 糸女

女

御成 糸女

正一

御成 糸女

貞元二年申 御成 糸女

養母

御成 糸女

実父

御成 糸女

貞元二年申 御成 糸女

実母

御成 糸女

貞元二年申 御成 糸女

御成 糸女

御成 糸女

貞元二年申 御成 糸女

孝徳

御成 糸女

貞元二年申 御成 糸女

実父

御成 糸女

貞元二年申 御成 糸女

実母

御成 糸女

貞元二年申 御成 糸女

貞元二年申 御成 糸女  
貞元二年申 御成 糸女  
貞元二年申 御成 糸女

天保七年正月七日

某 行年

母 家女

高 家女

母 家女

天保七年正月十日

母 家女

母 家女

天保七年正月十日

母 家女

母 家女

母 家女

母 家女

天保七年正月十日

母 家女

母 家女

右 通

天保七年正月十日

神田

天保七年正月十日

寛傳

年七十一

未音  
漢師

漢師  
八百七番

系糖

力  
加  
亥  
亥  
亥

首  
首  
首  
首  
首

藤原姓

寛

藤原 氏  
藤原 氏  
藤原 氏  
藤原 氏

藤原門外

正流

母 藤原氏女

妻 八王子 中村清盛定女

寛元元年己未年正月  
寛元元年己未年二月  
寛元元年己未年三月  
寛元元年己未年四月  
寛元元年己未年五月  
寛元元年己未年六月  
寛元元年己未年七月  
寛元元年己未年八月  
寛元元年己未年九月  
寛元元年己未年十月  
寛元元年己未年十一月  
寛元元年己未年十二月

藤原氏中流  
号 西流院三月

正流

妻 中村氏女

妻 藤原氏女

妻 藤原氏女

寛元元年己未年正月  
寛元元年己未年二月  
寛元元年己未年三月  
寛元元年己未年四月  
寛元元年己未年五月  
寛元元年己未年六月  
寛元元年己未年七月  
寛元元年己未年八月  
寛元元年己未年九月  
寛元元年己未年十月  
寛元元年己未年十一月  
寛元元年己未年十二月



延享二年七月廿七日  
延享二年七月廿七日  
延享二年七月廿七日

正徳

正徳二年七月廿七日

正徳二年七月廿七日

正徳二年七月廿七日

正徳二年七月廿七日

正徳二年七月廿七日

正徳二年七月廿七日

正徳二年七月廿七日

正徳二年七月廿七日

正徳二年七月廿七日

同平二月八日

延享二年七月廿七日

延享二年七月廿七日

某

延享二年七月廿七日

延享二年七月廿七日

延享二年七月廿七日

正徳

延享二年七月廿七日

延享二年七月廿七日

正徳

延享二年七月廿七日

延享二年七月廿七日



白美 今三郎

母 多女

心久 五三郎

母 多女

石通 山崎屋

三武 後 本國之河生武藏 東山院

寛政十三年

貞与 貞与 五

東月 長七郎  
弘安三年

長七郎  
八百五十九年 坂田屋

系譜

か 瑞家 治長  
癸丑 九

甲辰 卯  
弘安三年  
貞与 三郎 治長

先祖書

藤原姓 免

家紋

三つ巴

誓紋

三つ巴

幕紋

三つ巴

源氏系 皇統

皇章

母書 不知

年月日 皇統 皇統 皇統

皇統 皇統 皇統 皇統 皇統

皇統 皇統 皇統

皇統 皇統 皇統

皇統

忠奉

皇統 皇統

實 權之文 皇統

實 母海人 皇統

實 皇統 皇統

正 皇統 皇統 皇統

同 皇統 皇統 皇統

皇統 皇統 皇統 皇統

皇統 皇統 皇統 皇統

皇統 皇統 皇統 皇統

皇統 皇統 皇統 皇統

皇統 皇統 皇統 皇統

皇統 皇統 皇統 皇統

女 皇統 皇統

母 夫御氏女

胎之

信成部

長女 乙巳女

實父 權之入長門二宮

實母 母人乙巳長門二宮

實家

古子保正乙巳年七月七日生有子

古子保正乙巳年七月七日生有子 古子保正乙巳年七月七日生有子

實父 乙巳年七月七日生有子

長之

長子 乙巳年七月七日生有子

實父 甲辰年七月七日生有子 別別長子乙巳年七月七日生有子

實母 乙巳年七月七日生有子 河内長子乙巳年七月七日生有子

實父 乙巳年七月七日生有子

實母 乙巳年七月七日生有子

實家 乙巳年七月七日生有子

胎之

信成部 信成部

長女 乙巳女

實父 權之入長門二宮

實母 母人乙巳長門二宮

實家 乙巳年七月七日生有子

古子保正乙巳年七月七日生有子

古子保正乙巳年七月七日生有子 古子保正乙巳年七月七日生有子

實父 乙巳年七月七日生有子

某子 某子 某子

結定

女

女

女

女

女

女

某

女

女

勝誠

女

家女

家女

女

女

女

女

女

女

女

女



か  
平  
新

系譜

事  
有  
其  
由  
系  
統  
之  
由  
來

平  
氏  
之  
由  
來  
○  
伊  
田  
之  
由  
來

少  
事  
之  
由  
來  
○  
伊  
田  
之  
由  
來  
○  
伊  
田  
之  
由  
來  
○  
伊  
田  
之  
由  
來

*[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]*

平姓

行山氏

幕之紋

家之紋

同藩紋

九曜菊

十六角

丸云桐

先父之部大平平重弘君武藏守山守  
任人山守部官遠之代後流正母  
國第三代信外中男一郎士肥田源左衛門  
善子能の海公更國定守子忠順  
國次 行山守部 改修

母

山守

肥田源左衛門國次女

妻

山守守守政守





元和元年正月乞禱  
實事元子年正月十八日死於中  
海而死者十萬年山青松子  
号 武史道以

國家

三七年

母 山口伊豆守政房女  
妻 家女

父右衛門左衛門兵衛左衛門  
伊豆守政房  
元和元年正月十八日死於中  
海而死者十萬年山青松子  
号 武史道以

元和元年正月七日政房  
因政房而及之

自德云 伊豆守政房  
兵部卿政房  
一騎村元中及之  
多補仁部長通押

兩御保德 伊豆守政房  
賜人令之及之  
軍功以政房  
元和元年正月十八日死於中  
海而死者十萬年山青松子  
号 武史道以



父國久以爲官後知

正保元年二月廿五日  
見官名 後日所本此  
明曆三年寅月

延享二年

極而裏新院 新觀西道

權現様 官德云与所

又三列大樹寺 破後

大猷云即佛殿總門

川除山堂後山園

岩有云 即佛殿

元禄三年七月

國名 松平

権年 二年

満園

母 松平

書 甲辰年 辛巳二月廿九日 廿

延壽三年

林重長所送書同北抄原以上多似文字亦知  
如之長年七月二十日 高橋幸徳所  
以所送原紙之旨 此後之頃 檢而改  
改訂之也

卷有云 所傳原年同書 國史系 亦前日  
所書 西運書 同父 亦亦知

元徳二年九月二十日 海國山抄  
如所傳原紙  
同三年十月十日 新抄 西抄 原紙  
如所傳原紙 亦亦知 亦亦知 亦亦知

德和元年 西運書 同父 亦亦知  
如所傳原紙 亦亦知 亦亦知 亦亦知

延壽三年 西運書 同父 亦亦知  
如所傳原紙 亦亦知 亦亦知 亦亦知

同六年 西運書 同父 亦亦知  
如所傳原紙 亦亦知 亦亦知 亦亦知

常憲云 所書 西運書 同父 亦亦知  
如所傳原紙 亦亦知 亦亦知 亦亦知  
同七年 西運書 同父 亦亦知  
如所傳原紙 亦亦知 亦亦知 亦亦知

清陽云 所書 西運書 同父 亦亦知  
如所傳原紙 亦亦知 亦亦知 亦亦知  
同八年 西運書 同父 亦亦知  
如所傳原紙 亦亦知 亦亦知 亦亦知

正徳二年三月廿七日  
長徳公門下  
御人  
享保三年三月廿七日

有章公  
月  
享保三年三月廿七日

良常  
知事  
知事

女  
女  
女  
知事  
知事  
知事

某  
早世

國書  
早世  
早世  
早世

即国見

同平七月八日... 改... 改...

字... 子... 年... 行... 年... 七...

葬... 日... 号... 悲... 院... 云... 初... 日... 後...

法... 年... 國... 書... 書...

部... 知... 腹... 部... 就... 書...

早... 世...

早... 世...

國... 慶...

母...

妻...

女子... 保... 年... 行... 年... 七...

同... 己... 年... 行... 年... 七...

同... 己... 年... 行... 年... 七...

同... 己... 年... 行... 年... 七...

同... 己... 年... 行... 年... 七...

同... 己... 年... 行... 年... 七...

同... 己... 年... 行... 年... 七...

同... 己... 年... 行... 年... 七...

同... 己... 年... 行... 年... 七...

同... 己... 年... 行... 年... 七...

同... 己... 年... 行... 年... 七...

同... 己... 年... 行... 年... 七...

同... 己... 年... 行... 年... 七...

長門守の令を奉りて初任無事  
 善長に命ぜられたる下  
 明和六年七月廿七日印定  
 同日八月廿七日印定  
 号 而進院達信印定

國雄

治政年 未と 多と 二七三年

母 竹口 江原母

末 人等 江原母 裁章母  
 治政年 未と 多と 二七三年  
 明和八年七月廿七日印定  
 傳中書院有る者母也

女 女 女

國子守の令を奉りて初任無事  
 出束古事年七月廿七日印定  
 永井 昌物也  
 天明六年七月廿七日印定  
 藤口 昌也 智院 慧也 也

父 子 母 也  
 中書院有る者也  
 順政 力 也 長 壽 也

國輪

明和元年二月廿九日



國帳

惟年

母 仁皇保人女

素 田中深田教智女

天明六年十月六日海日牧中泊後所成  
書多作永井監知之統  
日八中平上日在之統  
山月見合 山月見合物具也  
實成之三年三月十日公女十一年之統  
刻入之統  
日八中平上日在之統 山月見合物具也  
國上三年三月十日公女十一年之統  
子成也

國清

清平帝

東

清平帝

女

東

清平帝

東

政之卿

右 通沙路

三 音 中 石

武別院

和國之所

日 或 音 中 後 四 京 京

在 皇 上 皇 新 皇 中 后 白

寛政十一年九月

書法中書省丞孫文亮

河山権平

壬午九月

*[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]*

書法中書省丞  
河山権平

河山権平  
三首九卷〇河山権平

先代祖書

カ

部

書法中書省丞孫文亮

河山権平

范系姓  
行山氏

房希大位平七代之苗裔行山氏爲而  
弘康織田彈正忠仕三氏目行山氏有子  
爲守將軍義昭公仕有功於子波  
國所稱爲以言系信國文有之以不難信  
也之信人行山氏之苗裔公孫合三氏以孫

家之紋

上ノ左ノ丸

幕之紋

口ノ

誓之紋

山ノ

河出高久直長曾

貞頼

多治門

母

石部

生

生

生

常憲院保即代 正公行都下者 延月

而多後後以若科日後以正也知

年月日不知能知之也所請所請

延月日

室永の事平十月十日之病此後ありて  
与り藤原号宣行院義之自恨

貞隠

多治門

実父

実母

素

印

室永の事平十月七日之病此後ありて  
与り藤原号宣行院義之自恨

親之由也 汝等當之其自明揚之也

少事後之也

正德二年二月十日中人之也當令修

藏部也之也

享保五年八月十日之也當令修

享保五年八月十日之也當令修

享保五年八月十日之也當令修

享保五年八月十日之也當令修

享保五年八月十日之也當令修

享保五年八月十日之也當令修

出町之也

享保五年八月十日之也當令修

藏部

自來

母

正德二年二月十日

之也

正德二年二月十日

享保五年八月十日之也當令修

享保五年八月十日之也當令修

柳以申以補經成之度如明之也  
總之節

宣曆年 辰年八月朔日 亥時 庚子  
物多知也 心者 即免之類也

同年 亥月 其日 朔也 卯  
卯年 亥月 其日 朔也 卯

同年 亥月 其日 朔也 卯  
卯年 亥月 其日 朔也 卯  
卯年 亥月 其日 朔也 卯  
卯年 亥月 其日 朔也 卯  
卯年 亥月 其日 朔也 卯

田中 卯子 亥時 亥

卯年 亥月 其日 朔也 卯  
卯年 亥月 其日 朔也 卯

養女

養父

養母

上列 卯子 亥時 亥  
卯年 亥月 其日 朔也 卯

卯年 亥月 其日 朔也 卯  
卯年 亥月 其日 朔也 卯

卯年 亥月 其日 朔也 卯  
卯年 亥月 其日 朔也 卯

何止家

貞明

卯月文信 卯年八月

美文

美每

定事

卯年八月

何止家

卯年八月

卯年八月

卯年八月

卯年八月

卯年八月

大徳元統

天保元統

田中系

天保元統

上皇

卯年八月

卯年八月

貞浪

卯年八月

美文

卯年八月

卯年八月

実母

蘇九千郎長女

妻

養父 九千郎長女

生

天明七年九月晦日

天明七年十月

天明七年十一月

天明七年十二月

天明八年一月

天明八年二月

天明八年三月

天明八年四月  
天明八年五月  
天明八年六月  
天明八年七月  
天明八年八月  
天明八年九月  
天明八年十月  
天明八年十一月  
天明八年十二月

女子

母

家母

養父 九千郎長女

右 通法

天明七年  
天明八年  
天明九年  
天明十年  
天明十一年  
天明十二年  
天明十三年  
天明十四年  
天明十五年  
天明十六年  
天明十七年  
天明十八年  
天明十九年  
天明二十年  
天明二十一年  
天明二十二年  
天明二十三年  
天明二十四年  
天明二十五年  
天明二十六年  
天明二十七年  
天明二十八年  
天明二十九年  
天明三十年

天明二十一年

天明二十二年

天明二十三年



か

書信  
書信

書信  
書信

書信

書信  
書信

書信

山家

Faint bleed-through text from the reverse side of the page, including the word "mountain" (山).

Handwritten text in a rectangular box at the top right of the page.

Handwritten text in a rectangular box on the left side of the top half of the page.

Handwritten text in a rectangular box on the left side of the bottom half of the page.

清和源氏  
行山

先祖小倉之河与近國使舎政彦  
有別子多之願更之河之知属依未  
兼兵官有軍切中余在出所時改行山  
右衛門行山之号改以行山

家之紋  
誓之紋  
兼之紋

梅輪  
三色  
三柏葉

三河与近國天律言多信有洋河花

一、燕、汝、寧、中、等、之、河、之、上、有、三、河、字、  
以、為、今、所、苑、亦、有、同、時、足、神、我、之、成、  
給、所、仍、改、之、福、系、以、所、轉、為、家、之、致、

在案

清改案錄七卷海國新改三河

天、文、七、年、今、州、義、元、夏、列、熱、所、入、湯、  
三、河、之、熱、湯、入、湯、義、元、之、河、之、也、  
義、元、之、年、事、之、也、少、別、是、地、之、義、元、  
三、河、之、也、藏、武、切、流、列、之、也、乃、係、元、  
三、河、之、國、群、之、曰、我、老、義、之、也、或、之、也、

愚、子、之、知、也、義、元、之、也、乃、係、元、之、  
河、之、也、明、之、年、春、火、信、之、也、乃、係、元、  
之、也、義、元、之、也、

案

火信之也乃係元之

今、州、義、元、之、也、

案

火、信、之、也、乃、係、元、之、也、  
火、信、之、也、乃、係、元、之、也、

案

火、信、之、也、乃、係、元、之、也、  
火、信、之、也、乃、係、元、之、也、  
一、八、九、

宗紀

所少帝之節 河野生

母 石紙  
妻 石紙

少年之時 延治元年 城列來好 尊禮道達  
經史聖賢 兼時一語 宗亮以 醫術高  
在名臣 凡宗紀 之子 遂自 兼事 不致 年  
以之 兼以 醫術 湖世 治名 夫西 十年 中  
身之 兼以 延治 元年 致志  
夫之 少年 十月 十日 宗紀 兼事 兼地 兼

宗指

所少帝安 子國之藏

養母 石紙  
實母 石紙  
妻 石紙

宗紀之實母 子色 宗紀 以指 為其 為家 曾  
宗指 十口 將宗 紀其 又進 一語 宗亮  
宗之 醫術 乃成 長子 則醫 術名 世以 子  
將宗 紀長 子一 為宗 亮之 弟其 名  
權源 云云 石紙 即自 自云 石紙

其之長不立及年

權現云上行常宿沙海成一府列小山信奉時  
石田路終浦一歲於以列以初山止及  
送西域一臺古會托中其事且終成凡  
急又台節中列國弟以移疏尾列  
法則方急而公

權現云聊言風症給之危症之至卒滿卷

仰天出所宗想賦以業今夜大以得乳  
之何由言速之何由得

其之長七五宮年一月五之誠國純行

權現云之念良由新之內音在河海和  
或而後故在者石於下並印刻醫所

其之長

其之長八至分年三月十日法眼公行自  
因一而年一月十日法眼公行自  
其之長一而將所所名仿無區之形之  
其之長一而將所所名仿無區之形之

其之長一而將所所名仿無區之形之  
其之長一而將所所名仿無區之形之  
其之長一而將所所名仿無區之形之  
其之長一而將所所名仿無區之形之

台端云 御感之條今派所服不亦至  
及尾列之細之義也之紀列之細云

相宜之水戸中初之於房之山而所長  
宗務之友故 中葉家

台令割取八之字多為病也之至雲浪  
後丹年其清心園之鳥屏等之所樂  
則給諸大名

其之長中九甲多平國中平人改自  
後之御陣信奉之連仁  
元和之而及年

控御之役給府之御營得因國田中

出御之今夜以所之御止者之役也

御在延沙晒壘清其御免也於其

宗務之御中葉國清給沙給氣御

還給之時給御應得也

御營之給御入息

元和己戊午年

台端云 蒙 貴令之御中葉高島國割取一割

仍給取之  
元和己戊午年中平控房之給取列水戸

城島給唐疾時家物口家

台會至正以火缺河藥別以年念

五和八主成年之月大合五午病死仁

華化三年感意多年法名其新源院日法

行山寺名居字哲原

國云終集集

如子

古商人娘

以念長乃与集

如子

行山寺庵

治河生

宗琢

如

石紙

素

石紙

元和九年春三月廿六日飲酒并燈燈

多德云云

即日見仕因年正月廿日父与居

以武 以市主 以河 以備所 以 以有也

法服云 以有

教首云

以有云 以有

宣和元年九月廿五日宣和元年九月廿五日

華化三年感意多年法名其新源院日法





養子仕度旨

實元入土 辛酉年七月朔日 養子仕度旨  
十八日 養子仕度旨 養元入土 養子仕度旨  
同日 養子仕度旨 養元入土 養子仕度旨  
同日 養子仕度旨 養元入土 養子仕度旨

玄實

玄實 玄實 玄實 玄實 玄實 玄實 玄實 玄實 玄實 玄實  
玄實 玄實 玄實 玄實 玄實 玄實 玄實 玄實 玄實 玄實  
玄實 玄實 玄實 玄實 玄實 玄實 玄實 玄實 玄實 玄實

實元入土 辛酉年七月朔日 養子仕度旨  
十八日 養子仕度旨 養元入土 養子仕度旨  
同日 養子仕度旨 養元入土 養子仕度旨  
同日 養子仕度旨 養元入土 養子仕度旨  
同日 養子仕度旨 養元入土 養子仕度旨  
同日 養子仕度旨 養元入土 養子仕度旨  
同日 養子仕度旨 養元入土 養子仕度旨  
同日 養子仕度旨 養元入土 養子仕度旨  
同日 養子仕度旨 養元入土 養子仕度旨  
同日 養子仕度旨 養元入土 養子仕度旨

法名 德林院 日記

片山宗元 知在 古中節

玄信

母

石紙

妻

石紙

生年月日 石紙

元禄九年七月八日 父宗元 訖

至國八月 官書 訖 祖 古 宗元

善 訖 父 訖 訖

宗元 己亥年八月 訖 古 宗元

父 訖 訖

國八 亥卯年九月 訖 訖 訖 訖

弟 訖 訖 訖 訖 訖

玄昌

片山宗元

母

石紙

妻

中人

秋 訖 訖 訖 訖 訖

元禄六年 訖 訖 訖 訖

古 訖 訖 訖 訖 訖 訖 訖 訖

訖 訖 訖 訖 訖 訖 訖 訖 訖

之海河... 藏子... 氏...

寶保二 壬戌年七月... 氏...

氏...

明地二 丙戌年三月... 氏...

希同... 氏...

去宗

行山... 氏...

中人...

養母

氏...

養父

氏...

氏...

養母

氏...

妻

氏...

氏...

氏...

氏...

氏...

氏...

氏...

氏...

氏...

氏...

氏...

延應 延應

延應七年七月廿五日  
延應七年八月廿五日  
延應七年九月廿五日  
延應七年十月廿五日  
延應七年十一月廿五日  
延應七年十二月廿五日

壬午

養正  
實天

延應七年  
延應七年  
延應七年  
延應七年  
延應七年  
延應七年

養正

延應七年  
延應七年  
延應七年  
延應七年  
延應七年  
延應七年

延應七年

延應七年八月廿五日  
延應七年九月廿五日  
延應七年十月廿五日  
延應七年十一月廿五日  
延應七年十二月廿五日

以和己巳年二月七日在京都御所  
御所

天保六丙午年六月十一日在後二病死者  
因与毒号法光院在願

心意

由滋身法院印在京都

養父

由滋身法院印在京都

養父

行山宗哲壬午年次男

女子

有八女  
四番目

藤下之宗元是妻

行山宗縁

初妻三郎

玄篤

母

行山与左店玄信女

妻

四番目  
松原卜左店是妻

實一稻由世改在京都御所母  
以和己巳年六月十一日在後二病死者  
渡船之河代父宗哲是妻由滋身法院印在京都

天保六丙午年六月十一日在後二病死者

九月宗元是妻由滋身法院印在京都

山藏子宗縁

寛政八丙辰年九月之海軍移与  
子記正殿

女子 早世

女子 紀子名正殿

右之通江正殿

三ノ成可後 中園名白  
生國名正殿  
正殿加多名保自西所書所而所  
石名所記正殿正殿正殿正殿正殿  
石名所記正殿正殿正殿正殿正殿

寛政七乙未十月

行正家歌馬

